

おもしろ算数(205) (小6年生)

(このページは、ちよくせつにゆうりよく直接入力できません。 いんさつそのまま見るか、つか印刷してもらって使ってね!!)

小学校6年生の みなさん、こんにちは。

おもしろ算数 (205) は、「文字を使った式」の問題です。



【問題1】

次の文字を使った式「 $X + 32 = Y$ 」になる問題をつくりましょう。

(答え)

【問題2】

次の文字を使った式「 $A \div 5 = B$ 」になる問題をつくりましょう。

(答え)

答え. たとえば、下のような問題になります。

【問題 1】

- ① 太郎さんはビー玉を X 個もっています。
二郎さんはビー玉を 32 個もっています。
2人のビー玉を合わせると Y 個になります。

- ② 昨日本を X ページ読みました。
今日 32 ページ読みました。
読んだページの合計は Y ページです。

- ③ サクラさんの身長は X cmです。
あと 32 cmのびると、お父さんの身長の Y cmになります。

【問題 2】

- ① 太郎さんはカードを A 枚もっています。
それを5人に同じ数ずつくばります。
そうすると1人分は B 枚になります。

- ② 面積が A cm²の長方形があります。
たての長さは 5 cmです。
そのとき、横の長さは B cmになります。

- ③ 花子さんは、月曜日から金曜日までの読書の時間に本を合計 A ページ読みました。
1日に花子さんが読んだページの平均は、 B ページになります。

※みなさんはふだん、問題から式をつくる勉強をたくさんしていますね。

今日は、その逆で、式から問題をつくる勉強でした。

実は、これはとても大切な勉強です。式を見て、自分で問題場面を思いうかべて、問題をつくることは、式の意味を学ぶことになります。これからも、色々な式から問題をつくってみましょう。